

平成29年10月23日  
国土交通省中部地方整備局  
木曾川下流河川事務所  
海津市役所



わじゅうびと  
「デ・レイケと輪中人と、私たち」  
を開催します。

平成29(2017)年は、明治20(1887)年に着工した木曾川下流改修工事(明治改修)から130年という節目の年にあたります。

木曾川下流河川事務所と海津市では、明治改修の歴史を学び、木曾三川と呼ばれるようになったその経緯について学んでもらう目的にシンポジウムを開催します。

- \* 明治改修を計画したオランダ人技師ヨハニス・デ・レイケと、明治改修に携わった人々についてのパネルディスカッション。
- \* デ・レイケと地元の人々との交流をえがいた市民創作劇「三川分流物語」。
- \* 特別展示として、「デ・レイケの描いた明治改修計画平面図」のレプリカの展示

などの内容で、多くの方の参加をお待ちしております。

1. 日 時 : 平成29年11月4日(土) 13:00~

場 所 : 海津市文化センター 岐阜県海津市海津町高須585-1  
電話 : 0584-53-3011

2. 内 容 : 別紙チラシ参照

3. 配布先 : 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、  
三重県第二県政記者クラブ、桑名市政記者クラブ、  
大垣市政・経済記者クラブ、津島記者会

4. 問合せ先 : 国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所

副所長 牛場 久典

専門官 丹羽 泰夫

TEL 0594-24-5719

海津市役所 建設水道部建設課 建設課長 高原 琢実

課長補佐 古川 和幸

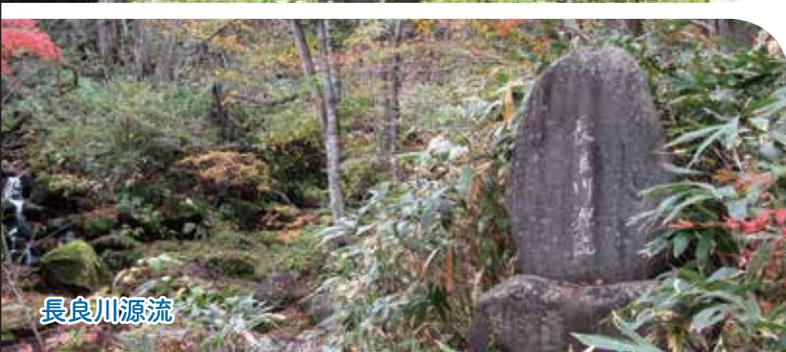
TEL 0584-53-1425



木曾川源流

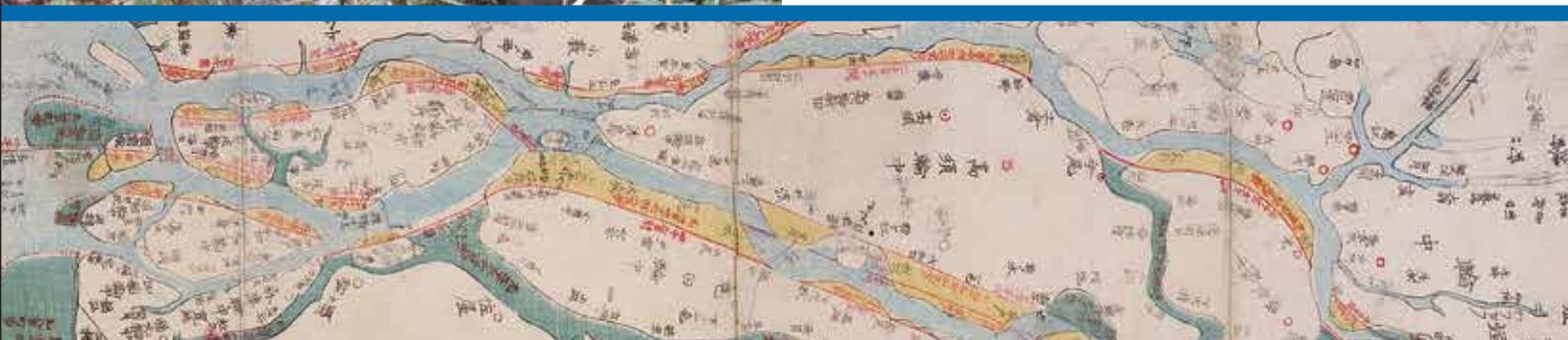


揖斐川源流



長良川源流

私たちは、木曾・長良・揖斐の三川を“木曾三川”と呼んでいますが、江戸時代までは、いくつもの河川が乱流しており、輪中によって集落を守っていました。



明治時代になると、その乱流を制するため、ヨハニス・デ・レイケが現在の木曾三川となるよう計画しましたが、河川改修を進めるうえでは、地元の協力・犠牲など様々な経緯がありました。

いつから“木曾三川”と呼ばれるようになったのか、明治改修の歴史を学ぶことからその答えを考えます。

～明治改修着工130周年記念シンポジウム～

デ・レイケと輪中人と、私たち

2017年11月4日[土]

12:30(受付開始) 13:00～15:00

場 所 | 海津市文化センター

〒503-0654

岐阜県海津市海津町高須585-1

TEL: 0584-53-3011

入場  
無料

開催内容

- ① オープニングアトラクション  
出演: かいづっち合唱団
- ② みんなで語ろう木曾三川130年  
～明治改修で活躍した人々～  
語り手: 丸山 幸太郎 氏(岐阜女子大学地域文化研究所 所長)  
久保田 稔 氏(NPO法人木曾川文化研究会)  
なみ 悟郎 氏(市民創作劇演出家)  
進行: 飯野 光則(木曾川下流河川事務所 所長)
- ③ 市民創作劇「三川分流物語」～デ・レイケと輪中人～  
※特別短縮版
- ④ 特別展示「デ・レイケが描いた明治改修計画平面図」  
※木曾川文庫所蔵絵図
- ⑤ パネル展示I「木曾三川と祭り」  
～世界ユネスコ無形文化遺産登録の祭りを中心に～
- ⑥ パネル展示II「ヨハニス・デ・レイケと上林 好之」
- ⑦ 物産販売 海津市のオリジナルグッズや特産品の販売

# 会場のご案内



※A～Dは当日ご利用いただける駐車場です。詳しくは下記をご参照ください。

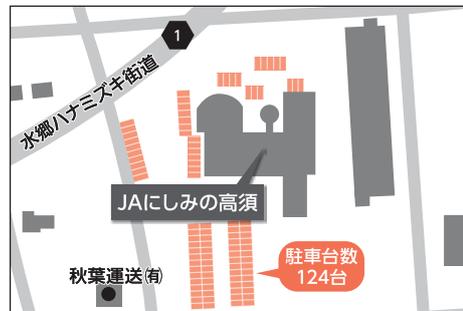
**住所** 海津市文化センター  
岐阜県海津市海津町高須585-1

**アクセス** 電車をご利用の場合  
JR大垣駅より大垣駅前(バス)  
海津市役所行で海津市役所下車 徒歩5分

## 駐車場のご案内



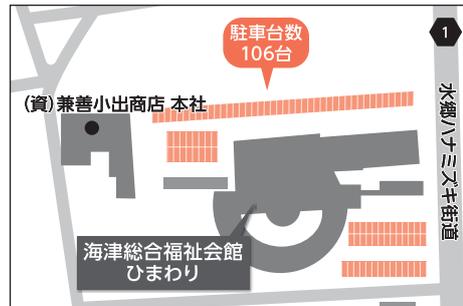
**A** 海津市文化センター  
岐阜県海津市海津町高須585-1



**B** JAにしみの高須  
岐阜県海津市海津町高須582-1



**C** 海津市役所  
岐阜県海津市海津町高須515



**D** 海津総合福祉会館 ひまわり  
岐阜県海津市海津町高須517-1

### お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局  
木曾川下流河川事務所 河川公園課

〒511-0002  
三重県桑名市大字福島 465

Tel:(0594)24-5719  
Fax:(0594)24-5727

Mail:cbr-karyu\_kouen@mlit.go.jp